

3. 11を忘れない被災地視察 2014 の報告

連合長野国民運動・環境委員会事務局・成沢 勇次

第1日目 3月14日(金)

19:40	飯田(キラヤ伊賀良店) 出発	20:35	伊那(上伊那地協前) 出発
21:20	塩尻(みどり湖PA) 出発	21:50	松本(松本合庁前バス停) 出発
22:50	長野(西友川中島店) 出発	23:30	佐久(佐久乃おぎのや) 出発

第2日目 3月15日(土)

6:00 車内で「結団式」開始
6:45 三陸道・春日PAで朝食
7:30 塩釜市内で連合宮城・
小田島塩釜地協事務局長
(私鉄総連宮城交通労組)が乗車
8:15 塩釜市から七ヶ浜町
『菖蒲田浜海岸』で黙禱
七ヶ浜町生涯学習センターへ到着
復興支援ボランティアでお世話になった七ヶ浜町社協の引地淑子さん(津波で自宅を流される)と再会
9:00 宮城交通バスに乗り換えて、七ヶ浜町生涯学習センターを出発
10:40 南三陸町志津川



『さんさん商店街』に到着(津波被害を受けた商店数十店が集まった仮設商店街)
3回の復興支援ボランティアの際に震災時の話しをお聞きした語り部の芳賀タエ子さん(津波で兄弟が犠牲)と再会



『南三陸町旧防災対策庁舎』で献花・焼香・黙禱を行う



『南三陸町ボランティアセンター』

13:20 石巻市北上
車窓より『大川小学校』(全校児童108名中74名が死亡・行方不明)を見る



13 : 40 女川町
『女川町地域医療センター』 駐車場から
町内を一望する 



14 : 石巻市
『すこやか地蔵』で献花・焼香・黙禱を行う
『日和山』から市街地を一望する



16 : 東松島市野蒜
『JR仙石線野蒜駅』を視察 



松島町～塩釜市～多賀城市

17 : 35 ホテルパールシティ仙台へ到着
18 : 00 連合宮城役員との意見交換団結会（酒楽一番町店）
[連合宮城出席者]
・阿部副事務局長（電機連合NECグループ連合）
・大黒石巻地協事務局長（UAゼンセン西友労組）
・小田島塩釜地協事務局長（私鉄総連宮城交通労組）

第3日目 3月16日（日）

連合宮城・阿部副事務局長と小田島塩釜地協事務局長がバスに乗車

8 : 30 ホテル出発
仙台港を視察
仙台市若林区（蒲生～岡田～荒浜）
『荒浜の慰霊碑』で献花・焼香・黙禱を行う



名取市関上

『関上の記憶』の見学とDVD鑑賞

『旧関上中学校』で献花・焼香・黙禱を行う



『日和山』

『仙台空港』

阿部副事務局長と小田島塩釜地協事務局長が下車

12:15 仙台空港を出発

17:55	佐久（佐久乃おぎのや）到着	18:45	長野（西友川中島店）到着
19:50	松本（松本合庁前バス停）到着	20:05	塩尻（みどり湖PA）到着
20:40	伊那（上伊那地協前）到着	21:30	飯田（キラヤ伊賀良店）到着

被災地視察2014を終えて

- ① 3. 11から3年を経て、初めてボランティア作業のない被災地視察を実施したが、参加者からは、現地を実際に見るだけでなく小田島塩釜地協事務局長の説明でより印象に残る視察が出来たと好評であった。
- ② 今回の企画にあたっては、連合宮城の小田島塩釜地協事務局長に多大なご協力を頂き、また、意見交換交流会には阿部副事務局長と大黒石巻地協事務局長にもご出席いただくなど連合宮城のご尽力に感謝したい。引き続き、連携を図っていきたい。
大黒石巻地協事務局長は自宅を津波で流され現在も仮設住宅で生活されており、仮設生活での苦勞など貴重なお話を伺う事ができた。
- ③ 一口に被災地と言っても、宮城県内の被災市町間では復興の進捗に大きな格差が生じていることを実感できた。
今回視察した市町では、高台への恒久住宅建設のため山を削る土地造成工事や津波で全てが無くなった更地を5m・6m嵩上げする工事が始まっている所もあれば、住民との合意形成ができず復興が進んでいない所もある。
- ④ 被災地では“震災遺構”を保存すると決めた所もあれば、解体してしまった所もある。
3. 11を忘れないためには、大震災の恐ろしさ凄まじさを直接見て語り部の話を聞く事が一番であることから、被災地視察の実施を周年の年1回でよいのか国民運動・環境委員会で議論をしたい。